



大田まちづくりセンター集会室で1月31日(土)、「日本語サークルこだま」さんからの要望を受け、外国人の人権について考える交流企画「ふれあいカフェ」を開催しました。参加者は外国出身者4人を含む22人。

家庭と地域で見られる偏見や差別、職場で見られる偏見や差別をテーマにしたDVDを視聴した後、グループに分かれて意見交換を行いました。ある職場では、外国の人に暮らしていく為のルールや、雪の日の歩き方まで教えてもらっているそうでびっくりしました。

話し合いの後は、センター長のギター演奏に合わせて参加者全員で合唱し、和やかな雰囲気になりました。

最後は記念撮影を行い、参加者同士の交流を深める時間となりました。



まちセンおおだ

№.252

発行
大田
まちづくりセンター
(TEL.82-6240)

印刷
株急行印刷
(TEL.82-9595)

**「まちセンおおだ」
発行月変更のお知らせ**

いつも大田まちづくりセンターだより「まちセンおおだ」をご覧いただき、ありがとうございます。

次年度より、下記のとおり発行月が変わります。

【新しい発行月】
5月・8月・11月・2月

今後とも、地域の皆さまに情報をお届けしてまいります。



ふねあそびネットワーク通信

大田町社会福祉協議会

福祉委員・民生委員児童委員

合同地域研修会

新諸友自治会

三宅 雅子



研修会は地震災害についての対応を学び合うことをメインに行なわれました。合わせてフレイル予防講座の案内もありました。

一「フレイル予防いきいき講座」の案内

大田市地域医療推進課の副主幹・田口佳子さんからのお話は、私たちへの朗報でした。

2回の講座で、主にリハビリテーション職員による血圧測定や簡単体力測定と生活の振り返りを行う。簡単体力測定を行い、チェック項目をもとに生活を振り返り今後の生活を考えるという内容でした。令和8年度は、5団体に出向くとのこと。

どなたにも訪れる老化の兆しに、体力が落ちてつまずきやすい、外出が減った、この先も歩ける身体でいたいと願うばかり。

検診等で病気が分かると考える暇もなく治療へまっしぐらとなりますが、予防なら自分なりに身体をいたわることで前向きな暮らしにつながるのではないのでしょうか。

二「普段のつながりは災害時にも生きる」

大田市社会福祉協議会地域福祉課係長・小谷太喜さんからは「災害時のつながりの大切さ」について、自主的な防災とそれを支える地域での共助が潤滑であるためには、日頃からのつながりを大切に、いろいろな事例を伺いました。

安全と思い込んでいた大田市では、平成30年の島根県西部地震に続き、この一月にも震度4の地震を体験しました。

福祉委員・民生児童委員に共通する役割は「地域の見守り」ですが、「みんな仲良く」なんて案外と難しい。フレイル予防も防災も、自分にできることから始めたいものです。

この一年自治会役員を体験した私は、地域の景色や空気を共有し、いつもの道を通って我が家にたどり着く時の安心感と同じというだけでつながりを実感しています。

地域ごとに災害の対処は違うだけに、自治会にできるのは、自主的にできる防災準備と、一時避難場所となる場所で情報を共有し、「助けて！」に応える支援ができる体制作りかと考えました。

はじめのあいさつで阪神大震災を体験された大田町社会福祉協議会会長・青木正三さんからの「災害対策に正解はないが減災はできる」というひと言が今回のキーワードだったと思いました。

大田町民児協だより

69

大田町民生委員・児童委員協議会

民生委員児童委員を

振り返って

三宅 栄

昨年11月に5期15年務めてまいりました民生委員児童委員(以下、民生委員)を退任いたしました。

15年前のこと隣接自治会長からのお誘いで、浅学非才の私が引き受けることとなりました。最初の3年間は何も分からず、先輩委員さんの助言により独居高齢者への訪問活動やこども達の見守り活動をしてまいりました。

在任中の思い出は沢山ありますが、特に印象に残っているのが独居高齢者へ配布する「ふれあい弁当」づくりです。委員の皆様も一生懸命に取り組んでおられ、ふれあい弁当づくりが委員同士の協調性や信頼感に貢献したことが、充実感に満ちた時間を体験いたしました。

忘れてはならない思い出は、平成30年4月9日の県西部を震源として発生した震度5強の地震です。先輩委員からは災害時には先ず自身を守ることの指導でしたが、私はヘルメットを着用して独居高齢者宅を訪問し

安全確認をしてみました。

近年の夏は高温多湿で熱中症予防や食中毒予防が必要で、注意報が出るたびに自作パンフレットを持参しての独居高齢者訪問活動も記憶に残っています。

委員同士の親睦会で新年会や納涼会そして旅行などが懐かしく楽しい思い出です。

訪問活動で接した高齢者の方から励ましの言葉を頂き、元気を貰うことが誠に感謝です。

地域で支えてくれた協力者の皆様、民生委員活動で支えてくれた委員の方々にも感謝です。

最後に「地域共生社会の実現」をめざして様々な施策が進められています。これまでの活動と地域の実情や課題を整理して、その時代にあった工夫や改善が必要だと思えます。

地域の中で社会的孤立にある人を見つけ出し見守り・支援すること、明るい町づくりを地域住民と共に力を合せてめざしていくことが大切だと思います。

このようなかにあって地域住民にとって最も身近な存在であり行政との繋ぎ役でもある民生委員に求められる期待は一層大きくなっています。ご活躍・ご健勝をお祈りいたします。

『ふれあい教室』の9回目と10回目が終わりましたので、その様子を紹介させていただきます。



教室の第9回が1月20日(火)に開かれ、講師に西村先生を迎えて、「切り絵」制作をしました。参加者は18名でした。

当日は、今年の干支にちなんだ「馬」や「花」など多彩な図案が用意され、参加者は、たくさん色紙や千代紙を使って絵に色を付け、額に入れたり色紙に貼ったりしていました。同じ図案でも選ぶ色によって印象が大きく変わり、個性豊かな作品が仕上がりました。「色選びが楽しい」「集中して作業しました」などの声が聞かれました。



今年度最後となる10回目は2月17日(火)で「美味しい珈琲の淹れ方&銀山学習」で、参加者は17名でした。

初めに、大田市社会福祉協議会の小谷さんから美味しいドリップコーヒーの淹れ方を教えていただき、5つのグループに分かれコーヒーを淹れました。私はコーヒー通ではありませんが、3種類いただき味が全く違う事に驚きました。

令和9年は石見銀山世界遺産登録20周年発見500周年になります。そこで淹れたてのコーヒーとお菓子を頂きながら、石見銀山ガイドの会の三井さんから「銀山の歴史」についてお話をいただきました。



令和7年度事業

令和7年度の事業に参加してくださったみなさん、本当にありがとうございます。まちセンでの学びや交流が元氣につながっていると感じています。来年度も、親しみやすく、参加しやすい事業づくりを続けていきます。どうぞよろしくお願いたします。



ボッチャ体験



健康ウォーク



盆踊り大会



避難訓練



銀すくい体験



令和8年度 まちセン事業 & 講座案内



事業・講座名	内 容	参加対象・人数	開催予定	時 間
子ども手芸教室	作品作りを通じて手作りの楽しさを学ぶ	小学生20名 材料費300円/1人	7/23、24、27、28、29(計5回)	10時~11時半
ふれあい教室	作って、食べて、観て、笑って、運動して勉強も少し、毎月1回楽しく交流会	基本65歳以上の男女30名(65歳以下でもOK) ※内容により材料費のかかる月があります	5月~2月 第3火曜日(計10回)	10時~12時
健康ウォーク	詳細は募集チラシで	どなたでも	11/15(日)	9時~11時
橋南VS橋北歌合戦	詳細は募集チラシで	大田町民	12/6(日)	午後
まちセンおおだまつり	詳細は案内チラシで	まちセン利用団体	R9.2/21(日)	10時~15時半

○「子ども手芸教室」と「親子でもの作り」は新学期が始まってから大田小学校の方へ募集案内を持って行く予定です。
 ○「健康ウォーク」「橋南VS橋北歌合戦」の詳細は募集チラシや「まちセンおおだ」でお知らせします。
 ○「ふれあい学級」は昨年から新たに始めた教室で、毎月1回第3火曜日の10時~12時で(内容によって1時間半で終わるもの、材料費のかかる時もあります)毎回内容は違います。物を作ったり料理をしたり、運動や脳トレたまには少し勉強。みんなで楽しく過ごせたらと思います。
 1回目は5月19日(火)で内容は参加者の方にハガキでお知らせします。参加者募集期間は4月末までです。皆さんの参加をお待ちしております。

主な行事

19日(火) ふれあい教室①
21日(木) 広報配布

4月
23日(木) 広報配布

5月
19日(火) ふれあい教室①
21日(木) 広報配布

大田町が「はつらつモデル地区」に指定されます
 大田町がこのたび、大田警察署より「はつらつモデル地区」に指定されることになりました。「はつらつモデル地区」とは、高齢者を交通事故から守るため、地域ぐるみで交通安全対策を推進するものです。

広報配布日が来年度から「木曜日」に変わります
 大田町では、これまで広報紙は、毎月第3または第4の水曜日から、自治会の配布担当の方にまちセンへ取りに来ていただいていた。しかし、広報の配布部数が多い月には、水曜日の午後までに準備が間に合わないことがあるため、来年度からは木曜日の午前から受け取り可能とするに変更します。広報紙はこれまでと同様、自治会を通じて各家庭へ届けられます。ご理解とご協力をお願いいたします。